

大分経理専門学校 青春メッセージ

第一線で活躍する

先輩たち

念願の花店で働き始めて3年目。華やかさと裏腹のハードな仕事に追われる毎日だが、黙々と努力を重ねてきた。大分経理専門学校時代に先生から教わった心構えを胸に、「お客さまの気持ちを考えながら仕事ができる、頼りになる人」を目指して頑張っている。

落合 晃平さん(22)

短大科平成19年3月卒業＝大分高校出身＝



忙しくても「贈る人の気持ちを考えながら」作業する落合さん

野田麗花園(大分市)

ハードな

花店の仕事

野田麗花園の営業兼デザイナーとして働き、配達などを任せられると野田落合さん。入社3年目、変な仕事も、みんなの中心となつてよくやっています。葬儀や結婚式、中心となつてよくやっています。葬儀や結婚式、中心となつてよくやっています。葬儀や結婚式、中心となつてよくやっています。

ている。花に囲まれたきれいな仕事と思われがちだが、花店の仕事は多忙を極める。急な仕事が入るのは日常茶飯事。限られた時間で、いかに美しく仕上げられるかが求められる。人の世界だ。体力も要る。「研究熱心で、人の見えないところで頑張る努力家。大

先生の教え胸に努力、日本一目指して

先生との距離が近い
落合さんは高校時代から、「花店で働きたい」と考えていた。仕事にはパソコンなどの技術も必要と、大分経理専門学校に進学。先生との距離が近く、楽しく勉強できたという。「経理とは違う分野で働いているけれど、先生方から教わった仕事に対する真剣な姿勢や心構えは、今も役立っています」。
花の好みは人それぞれで、生花は扱いが難しいが、「贈る人の気持ちを考えながら仕事をしています。安心して仕事を任せられる人になりたい」ときっぱり。野田専務は、「落合君なら大分一、九州一、日本一の技術者になれる」と、大いに期待している。

【お問い合わせは】 大分市錦町3丁目7-28 ☎(097)534-6625 <http://www.keiri.ac.jp>

広告